

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyar@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 内藤 昇
幹事 磯部 一智
会報委員長 花井 淳

2024～2025年度 国際ロータリー ステファニー・A. アーチック 会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3279回例会プログラム

[当年度=38回目；当月=4週目]

2025年（令和7年）6月23日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:10～《食事》
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 新会員挨拶……高橋^{たかはし}正典^{まさのり} 会員
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/30) ……
夕食例会（親睦活動委員会）
17:30～ホテルクラウンパレス知立
(7/7) ……クラブ協議会
新理事挨拶

2. クラブ協議会……………〈司会：幹事〉

- 13:00 1. 開会の言葉……会長
2. 現理事挨拶……各理事
3. 閉会の言葉……会長

13. 点鐘……〈会長〉
14. 閉会宣言

13:30 15. 散会

出席

会員総数 95名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 6名 出席率 93.18%
前々回（6/2）の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 6月19日、6月ゴルフ例会（取切戦）が三好カン
トリー倶楽部東コースで開催されました。グロス78、
ネット69.6で磯部一智会員が優勝されました。

幹事報告

- 1) 本日、高橋正典会員が入会されましたので会員数
を95名と訂正させていただきます。高橋会員は親睦活動
委員会へ配属とさせていただきます。

会長あいさつ

内藤 昇



6月23日は昭和新山が第1次大噴
火。第1火口形成された日です。

昭和新山は有珠山とともに気象庁
による常時観測火山に指定されてい
ます。山への立ち入りは禁止されて
おり、特別な許可がなければ入山す
ることができません。

昭和新山は1943年（昭和18年）12月から1945年（昭和
20年）9月までの2年間に17回の活発な火山活動を見せ
た溶岩ドームです。当時は第二次世界大戦の最中であり、
世間の動揺を抑えるために噴火の事実は伏せられ、公的
な観測を行うことができなかったそうです。そのような
状況下で、地元の郵便局長であった三松正夫は、新山が
成長していく詳細な観察記録を作成し、後に「ミマツダ
イヤグラム」と命名され貴重な資料として評価されまし
た。火山の形成過程を人類が詳細に記録した唯一の例だ
そうです。

また、三松はこの世界的に貴重な火山の保護と家や農
場を失った住民の生活の支援のために、山になってしま
った土地を買いました。そのため昭和新山は三松
家の私有地であり、ニュージーランドのホワイト島等と
同じく世界でも珍しい私有地にある火山となっています。
1951年（昭和26年）国の天然記念物に指定され、1957年（昭
和32年）には特別天然記念物に指定されました。道立の
昭和新山資料館が設けられました。

山麓には1988年（昭和63年）4月開館の三松正夫記念館があり、三松による観測記録の資料が展示されています。館長の三松三朗は大学在学中、正夫の研究活動に感銘を受けて面会を求め、後にその孫娘と結婚した。記念館は2021年の日本火山学会普及啓発賞を受賞しました。

昭和新山誕生までの噴火活動

- 1943年（昭和18年）12月28日 午後7時頃に壮瞥町周辺で最初の有感地震。以降、地震が頻発する。
- 1944年（昭和19年）1月4日 フカバ集落の湧水の温度が上昇し、20℃だったものが43℃に達する。
- 1月5日 洞爺湖に巨大な渦巻きが発生。同日、レールの隆起により胆振線が不通となる。
- 2月-5月 フカバ集落・柳原集落・東九万坪・西九万坪一帯で隆起活動が続く。中でも柳原集落は前年比で31mも隆起した。
- 6月21日 壮瞥川が川底の隆起によって氾濫。
- 6月23日 午前8時15分、東九万坪台地より第1次大噴火。第1火口形成。
- 6月27日 午前6時、第2次大噴火。第2火口形成。
- 7月2日 午前0時頃に第3次大噴火。第3火口形成。苦小牧、千歳方面に降灰。
- 7月3日 午前8時30分に第4次大噴火。室蘭、登別方面に降灰。
- 7月11日 午前10時40分に第5次大噴火。噴煙が強風に倒され、洞爺湖畔を襲う。
- 7月13日 午後6時10分に第6次大噴火。第4火口形成。
- 7月15日 午後9時に第7次大噴火。
- 7月24日 午前5時に第8次大噴火。
- 7月25日 午前5時10分に第9次大噴火。
- 7月29日 午後2時20分に第10次大噴火。登別、白老方面に降灰。亜硫酸ガス噴出で山林が荒廃。
- 8月1日 午後11時55分に第11次大噴火。室蘭方面に降灰。
- 8月4日 午後10時に第12次大噴火。
- 8月20日 午前6時に中噴火。第5火口形成。
- 8月26日 午後2時20分に第13次大噴火。壮瞥町滝之上地区で、睡眠中の幼児1名が火山灰により窒息死。
- 9月8日 午後4時15分に第14次大噴火。フカバ集落で火山弾による火災。5戸が全半焼。
- 9月16日 中爆発。第6火口形成。
- 10月1日 午前0時30分に第15次大噴火。第7火口形成。
- 10月16日 午後7時50分に第16次大噴火。
- 10月30日 午後9時30分に第17次大噴火。これを最後に降灰を伴う噴火は収束。
- 12月 溶岩ドームの推上が始まる。
- 1945年（昭和20年）
- 1月10日 溶岩ドームの高さ、地表より10-20m。
- 2月11日 溶岩ドームは高さ40-50mに成長。
- 2月26日 溶岩ドーム主塔の脇に副塔が確認される。
- 5月 主塔の高さ85mに達する。
- 9月20日 全活動停止。溶岩ドーム主塔の高さ175m。

(2)

毎年恒例の事ではありますが、6月第3週の例会はクラブ協議会となります。

そして、刈谷商工会議所での今年度最後の例会となります。

後ほど理事の皆様にご挨拶頂きますが、1年間大変お世話になりましたことに感謝致します。

新 会 員 紹 介

氏 名 たかはし まきのり 高橋 正典
 生年月日 昭和58年3月29日
 推 薦 者 加藤 哲也 会員
 職業分類 税理士
 事業所名 高橋会計事務所
 役 職 名 税理士
 所属委員会 親睦活動委員会



6 月 度 刈 谷 RC ゴ ル フ 例 会

令和7年6月19日(木)

於：三好カントリー倶楽部

成 績	氏 名	G	H	N
優 勝	磯部 一智	78	8.4	69.6
2 位	盛田 豊一	90	18.2	71.8
3 位	加藤 真治	91	18.0	73.0
B B	吉原 孝彦	105	20.4	84.6



現理事あいさつ



内藤 昇
会長



近藤 純子
会長エレクト



佐野 眞琴
副会長



加藤 英樹
直前会長



鬼頭 一浩
会計



加藤 真治
会場監督



兵藤 文男
クラブ奉仕委員長



伊藤 節夫
会長ノミニー・職業奉仕委員長



豊田 貴久
社会奉仕委員長



出口 達也
国際奉仕委員長



久米 博明
青少年奉仕委員長



神谷 強
ロータリー財団委員長



角谷 広高
米山記念奨学委員長



吉原 孝彦
ガバナー補佐



杉浦 文雄
IM 実行委員長



磯部 一智
幹事

1年間、ご協力ありがとうございました。無事終了できます。